

# 京都大学医学部附属病院 2021年度第2回医療安全監査報告書

国立大学法人京都大学医療安全監査委員会規程第2条第1項に基づき監査を実施しましたので、以下の通り報告致します。なお、今年度第1回に引き続き、依然として新型コロナウイルス感染拡大の状況下であることを鑑み、オンラインによる開催としました。

## 1. 監査の方法

国立大学法人京都大学医療安全監査委員会規程第2条第1項に基づき、京都大学医学部附属病院における医療安全に係る業務の状況について、病院長、医療安全管理部部長等から説明及び資料の提出、閲覧を実施し、質疑応答等の方法によって下記の監査委員が監査を実施しました。

委員長 山口 育子(認定NPO法人ささえあい医療人権センターCOML理事長)  
委員 伊藤 英樹(広島大学病院医療安全管理部部長)  
委員 平野 哲郎(立命館大学法科大学院教授)  
委員 北村 雅史(京都大学副学長)

\*欠席：佐和貞治委員(京都府立医科大学附属病院医療安全推進部部長)

## 2. 監査の実施日

2022年1月21日(金) 13:30~16:00

## 3. 監査実施事項

### <審議事項>

- (1) 医療事故対応を踏まえた医療安全管理体制の検証
- (2) 医療安全管理体制の改善に係る取組み

### <報告事項>

- (1) 医療安全管理部に求められる業務と現状
- (2) 現時点における主な統計データ等
- (3) その他

## 4. 監査の結果

審議事項(1)については、2つの事例に対する詳細な内容と対応についての説明がなされ、医療安全のプロセスと改善に係る取組みが適切であるか検証をおこなったところ、すべて適切であると判断されました。2例目については途中経過であったため、次回以降、再度報告がなされることになりました。

審議事項（２）については、次の９項目について病院側から説明があり、その後質疑応答を踏まえながら審議しました。

- １）入院患者の転倒・転落
- ２）患者の誤認防止
- ３）患者受け持ち漏れ
- ４）退院時関連エラー
- ５）画像診断報告書の既読管理
- ６）説明文書の整備状況
- ７）手術記録の作成管理
- ８）血栓塞栓予防対策
- ９）DPC データ分析

９項目の取り組みについて適切であるか検証をおこなったところ、すべて適切であると判断されました。全体的に熱意を持って取り組んでいると高い評価がなされました。また、2016年から実施しているインフォームド・コンセントの患者アンケートは膨大な量のデータが集まっていると思われるため、その分析結果について今後の報告を期待する旨の意見もありました。

報告事項（１）については、「新規発生医療事故の発生報告」について報告がありました。また、「院内ラウンド評価の実施」についても報告があり、その後、質疑応答をおこないました。

続いて、報告事項（２）については、次の４項目のデータの報告がありました。

- １）インシデントレポート報告数（2021年8月～12月）
- ２）死亡患者数（2021年7月～11月）
- ３）インフォームド・コンセント患者アンケート集計（2021年10月）
- ４）医療安全・院内感染対策に関する講習会部署別一覧（2021年12月）

報告事項（３）については、その他として医療安全管理室のホームページによる外部向け情報発信、前回の監査委員会で紹介された転倒・転落予防啓発動画の公式 YouTube チャンネル掲載、ISO 外部審査結果の公表について報告がありました。

以上

2022年3月15日

国立大学法人京都大学医療安全監査委員会  
委員長 山口 育子